令和７年度　スキル標準

スキル標準全体概要

本スキル標準は、島嶼部の課題解決に寄与するため、医療福祉・行政・ビジネス・IT を横断して支援できる DX を駆使する複合スキル型エッセンシャルワーカーに求められる知識・スキルを整理したものである。

人口減少・高齢化、医療介護資源の制約、交通・物流・情報環境、災害時の孤立リスク等の地域特性を踏まえ、現状理解から現場実装・改善まで推進できる人材像を目標とする。

大項目ごとに基礎知識、多職種連携、DX 活用、業務遂行スキルを体系化し、小項目で学習・評価観点を明確化している。

評価は、知識を「認知→理解→他者への説明」、スキルを「指導下で実行→自律→他者への指導」の３段階で定義している。

地域課題の理解を起点に、デジタルツールの活用や関係者との合意形成と協働を通じて地域社会の維持・発展に必要な業務遂行能力の観点を重視する。

レベル定義

	レベル	定義
知識	レベル 1	知っている。認知している。
	レベル 2	理解している。
	レベル 3	他者に説明できる。

	レベル	定義
スキル	レベル 1	他者から指導を受けながらできる
	レベル 2	自らの判断でできる
	レベル 3	他者に指導できる

大項目１：学習者が関係する島嶼部の現状と課題

中項目	小項目（キーワード）	区分	概要（説明）
社会構造	人口減少	知識	人口の減少傾向・要因・生活/サービスへの影響の要点
	高齢化		高齢化率・世帯構成・介護需要の増加と課題の要点
	医療福祉体制		医療/介護資源の配置・提供体制・連携の特徴と課題
生活・産業・インフラ	生活環境		住環境・買い物/移動・生活利便の現状と課題
	主要産業		地域の主要産業（観光/一次産業等）と雇用・季節変動の特徴
	インフラ制約		水道・電力・通信・道路等の制約と維持管理の課題
交通・物流・情報環境	交通手段		島内外移動の手段・便数・制約の特徴
	物流コスト		輸送距離/便数に伴うコスト構造と生活・事業への影響
	情報アクセス		通信環境・デジタル利用機会・情報格差の課題
災害リスクと地域特性	自然災害		台風・豪雨等のリスクと発生時の影響
	孤立リスク		断航・停電等により孤立する可能性と備え
	復旧体制		復旧/支援の体制、関係機関の連携、資機材確保の課題

大項目２：分野横断的基礎知識

中項目	小項目（キーワード）	区分	概要（説明）
医療分野の役割	地域医療	知識	地域の医療提供体制（一次/救急等）と役割分担の要点
	人材不足		医療・介護等の人材確保課題と現場への影響
	医療連携		医療機関・介護・行政等の連携（紹介/情報共有等）の要点
福祉分野の役割	介護支援		介護サービス提供・ケア調整・家族支援などの要点
	生活支援		見守り・移動/買い物支援等、生活維持の支援の要点
	地域包括		地域包括ケアの考え方と相談/調整機能（支援センター等）の要点
行政分野の役割	制度運用		制度に基づく受付・審査・給付等の事務運用の要点
	調整機能		関係機関・住民間の連絡調整、合意形成、資源配分の要点
	公共サービス		住民の生活を支える行政サービスの提供・確保の要点
ビジネス・民間分野の役割	持続性		事業・サービスを継続するための収支/人材/運営の要点
	官民連携		行政と民間が役割分担し課題解決を進める枠組みの要点
	事業性		課題解決と両立する提供価値・収益/コスト設計の要点

大項目３：多職種連携に関する知識・スキル

中項目	小項目（キーワード）	区分	概要（説明）
多職種連携の意義	目的共有	知識	連携の目的・成果指標を合わせる重要性の要点
	相互理解		職種間の価値観/前提/制約を理解する要点
	協働		役割分担と情報共有により共同で進める基本の要点
役割・専門性理解	専門性理解		各職種の専門領域・強み・限界の要点
	立場理解		組織/職位/責任範囲など立場の違いの要点
	役割分担		タスク・責任・連絡窓口を明確にする要点
合意形成・調整	合意形成		意思決定の進め方（論点整理・合意条件）の要点
	調整		利害/優先順位を整え、実行可能な落とし所を作る要点
	意思決定		判断基準・根拠・責任の整理と決定手順の要点
協働スキル	傾聴	スキル	相手の意図・感情・背景を捉え、確認・要約して共有する
	対話		論点を整理し、質問・確認を通じて建設的に話し合う
	チームワーク		役割を果たしつつ連携を促進し、成果に向け協働する

大項目 4：DX・デジタル技術活用に関する基礎知識

中項目	小項目（キーワード）	区分	概要（説明）
DX の基本概念	業務変革	知識	業務の目的・プロセス・役割を見直し成果を高める考え方
	デジタル化		紙/属人をデジタルに置換し、記録・共有を可能にする考え方
	価値創出		住民/利用者への価値を起点に新しい提供方法を作る考え方
AI・IoT 等の基礎	AI		AI の用途（予測/分類/生成等）と得意不得意の要点
	IoT		センサー等でデータ取得し、監視・通知・効率化する要点
	データ活用		データ収集→整理→分析→改善に活かす流れの要点
DX 活用事例	医療 DX		電子カルテ連携・遠隔等、医療の DX 活用例の要点
	福祉 DX		記録/見守り/業務支援等、介護・福祉の DX 活用例の要点
	行政 DX		電子申請・窓口改革・データ連携等、行政 DX の要点

大項目 5：DX 活用・業務遂行に関するスキル

中項目	小項目（キーワード）	区分	概要（説明）
課題把握	情報収集	スキル	必要情報を選び、信頼できる情報源から集める
	情報整理		分類・可視化・要約し、意思決定に使える形にする
	課題整理		現状・原因・影響を整理し、優先順位を付ける
DX 活用・業務改善	業務改善		ムダ/ムリを見直し、手順・役割・標準化を進める
	DX 活用		目的に合うツールを選び、導入・定着まで進める
	効率化		標準化/自動化で時間短縮し、品質を維持する
提案・共有	提案力		課題・根拠・効果を示し、実行可能な提案にまとめる
	報告		事実と判断材料を要点で共有し、次の行動につなげる
	情報共有		共有範囲・タイミングを整え、漏れなく伝達する
振り返り・改善	振り返り		結果を見て学びを整理し、次の改善点を抽出する
	改善		改善策を実行し、効果を見ながら更新する
	次善策		制約やリスクを踏まえ、代替案を準備・選択する